

閉会の辞

穴見 明

どうもありがとうございました。

それでは、時間も過ぎておりますので、そろそろシンポジウムを閉じさせていただきますと思います。今日の報告者の皆さんのお話などからも、より明らかになったと思いますが、この首都機能移転問題自体が、多面的な問題でありまして、いろいろな多様な論点があることに加えまして、その問題の時間的なスパンにつきましても、いろいろな考え方があるということ、とてもこれだけの短い時間で、十分議論することは難しいわけですが、それにしましても、今日のシンポジウムを通じまして、問題の所在であるとか、あるいは問題の重要性であるとか、そういったことがかなり明らかになったのではないかと思います。そういうことで、主催者側としましては、今日、ご報告をお引き受けいただきました大坂先生、昇先生、竹下先生にあらためて御礼を申し上げたいと思います。それからまた、本日このシンポジウムに、出席していただいた皆さんにも、あらためて主催者側を代表して、お礼を申し上げたいと思います。

それではこれで、シンポジウムを終わりとさせていただきます。どうも長い時間お疲れ様でした。